

## <受賞者略歴>

### うたかいずみ

兵庫県生まれ。第12回国民文化祭創作童話部門文部大臣奨励賞。第69回芸術文化団体「半どんの会」児童文学部門文化賞。第7回兵庫県青少年童話コンクール優秀賞。その他多数。

「子供の詩有本芳水賞」推薦委員。2023年1月に童謡詩集『あしたの木』（銀の鈴社）出版。

童謡詩「あしたの木」「魔法のマント」「ほしの ネックレス」「紙ひこうき とぼそ」「おばけの先生」「あおいきのみ」「ゆうやけパレット」などが、日本童謡協会主催『童謡祭』で演奏される。

童話『フラワーレターは さんになんで!』『ブンのおてがら』朗読劇上演。『ことばの詩集—方言と手紙』（銀の鈴社）『おはなしの森シリーズ』（神戸新聞総合出版センター）『頭がよくなる10の力を伸ばすお話』（PHP 研究所）その他。「とっくんこ」「季節風」「花」同人。日本童謡協会・日本児童文学者協会・日本児童文芸家協会会員。

### 有限会社ナカダ音楽事務所

2003年に作曲家・中田喜直の個人事務所を継承。クラシック音楽、日本の歌、童謡などにジャンルを絞りCD制作を主な業務とし、併せて中田喜直の音楽全般を顕彰。コンサート、レコーディングの企画・制作を音楽出版・ハッピーエコー社と協力して行っています。

また音楽ディレクターとして、EMI ミュージック・ジャパン勤務を経て、ユニバーサルミュージック、ワーナーミュージック、オクタヴィア・レコード、ホリプロなどのレーベルと協力、近年では、荘村清志、千住真理子、小林愛美、はいだしょうこ、などのCDを制作。2023年制作、バリトン歌手・坂下忠弘の新作CD「中田喜直ソングス～さくら～」（299MUSIC）は朝日新聞など各方面より高評価をいただきました。

また、中田喜直生誕100周年企画として、映像、語り、演奏による「水芭蕉コンサート」、横浜市歴史博物館にて「特別展 生誕百年 中田喜直展」、三鷹市主催「めだかの学校ファミリーコンサート」などをハッピーエコー社と協力し成功裡に終えました。

### ダ・カーポ

いつまでも初心忘れず、という意味でダ・カーポ（音楽用語で最初に戻る）と名付け、榊原まさとしと広子のデュオは1973年デビュー。翌年「結婚するって本当ですか」の大ヒット。その後「野に咲く花のように」、「宗谷岬」、「よこはま詩集」「ベストパートナー」など数々のヒット曲の他、童謡、叙情歌を100曲以上レコーディング。日本の文化として後世に伝えるべく歌い続け、そのCDはロングセラーとなっている。

2012年から、榊原広子がNHK-FM「音楽遊覧飛行」のパーソナリティを務めている。

2人の娘、榊原麻理子は2008年よりメンバーに加入。2013年～2020年パリでのフルート留学にて研鑽を積み、帰国後メンバーに復帰。2023年、デビュー50周年を迎える。

記念シングル「今日がいちばん若い日！」が、NHK「ラジオ深夜便」の『深夜便のうた』として放送され、大きな反響を呼ぶ。50周年記念のCD、DVD等、続々とリリース。

また、コンサート活動も精力的に行っている。今も変わらぬ歌声は、世代を超えて、根強い人気を得ている。

### 令和 じゃんけんぽん

2019年、眞理ヨシコを発起人、たいらいさお、稲村なおこを世話人として発足。長年童謡をライフワークとする歌手・ピアニスト・スタッフに呼びかけ、20人の仲間が趣旨に賛同、新しい童謡運動の一つとして演奏者仲間主導で創るコンサート活動をスタートさせました。第1回目のコンサートを2019年7月13日（土）紀尾井町サロンホールにて開催。以後、第5回目を2023年11月8日（水）板橋区立文化会館で開催。会では本番の公演もさることながら事前のリハーサルを重視、作品への”思い”を大切に演奏することを切磋琢磨しながら取り組んでいます。2023年11月、会のテーマソング「じゃんけんぽんのうた」のCD発売。今後も「令和の童謡運動」として、名曲童謡から新しく誕生する童謡まで、人間の普遍的なテーマを伝える童謡を伝承し、開拓していきたいと思っています。

### あべ こうぞう

定年退職後帰郷。（広島県福山市神辺町道上）童謡作詩家葛原しげると同郷、近くの三原には武内俊子が居る。

宇宙船、とっくんこ、日本童謡協会会員。

童謡詩の同人誌「このゆびとまれ」を発刊し、「新しい子どものうた・このゆびとまれコンサート」「童謡を歌おう会」を立ち上げる。「生きているしるし」（銀の鈴社刊）、「ママから始まるお母さんの歌」（私本出版）出版。

第9回島木赤彦童謡コンクール 入賞

第49回児童作曲コンクール（東京都小音楽教育研究会）課題詩採用

第14回親守唄・歌会（2020）奈良市 入選

滋賀県五個荘地区まちづくり協議会 最優秀賞 六つの心でまちづくり

地元福山市にて、童謡を歌おう会（年2回、現在23回を迎える）・このゆびとまれコンサートを開催。

### たけうちこう

悩み多き青春時代の『心の奥底からの叫び』とも言える”音つむぎ人生”の集大成として、この度2023年に童謡作品集を編集。1973年と1975年にNHK「あなたのメロディー」で演奏され出演。早大理工卒の異端児の為、ヤマハやビクターの作曲教室、音楽専門学校で学んだ後、1984年から四半世紀に渡り、若松正司先生の「あしたの会」で作曲理論のご指導を仰ぐ。1989年に三木露風生誕百年祭新しい童謡コンクールにて優秀賞受賞。日本童謡協会入会。毎年、童謡祭で新曲を発表し30年超となる。大阪芸術大学藤原薫教授の著書やCDに採用、2002年全国童謡サミット愛媛大会記念コンサート等で演奏。

中田喜直先生の「僕その歌覚えてる」、湯山昭先生の「マルが付いている」、宮中雲子先生の「今日のあなたの作品よかったわねえ」等々、有難い言葉の数々は忘れられない。当方ベヒシュタイン・ザールにて100回超演奏会開催。